

ぜせんだら  
「是旃陀羅」問題に関する  
教区学習会

◇日時 5月27日(木) 14:00~16:30

14:00	開会	16:00	質疑応答
14:15	講義(90分)	16:30	閉会
15:45	休憩		

◇場所 桑名別院本堂

(桑名市北寺町47 [TEL:0594-21-8000](tel:0594-21-8000))

◇講師 鶴見 晃 氏(同朋大学准教授)

◇参加費 無料

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、参加者名簿を作成します。

参加ご希望の方は、三重教務所までメール

E-mail [mie@higashihonganji.or.jp](mailto:mie@higashihonganji.or.jp)にて申し込みください。

(①氏名、②何月何日の研修会に参加する、などを記載ください)

参加費は無料。電話での申し込み可。当日は、マスクを着用ください。

なお、会場の桑名別院本堂参加者の定員を50名とし、定員を超えた場合は、三重同朋会館3階講堂でモニター視聴での参加となりますので、その旨ご了解ください。

※ 感染症の拡大状況によってWeb開催、変更、中止の場合があります。

最新の情報は「三重教区・桑名別院」ホームページで確認ください。

教務所メールアドレス



別院ホームページ



問合せ 真宗大谷派 三重教務所 ☎0594-21-8000

主催 三重教学研究室

# 「是旃陀羅」問題に関する教区学習会開催にあたって

三重教学研究室長

藤嶽明信

浄土三部経の一つである『観無量寿経』は、親鸞聖人が正依の經典であり「大聖の自説」と位置づけた大事な聖教であります。特に、『観無量寿経』序分は、『現代の聖典』として同朋会運動のテキストとして公開されているものであり、教区においても「教区壮年特別伝道」のテキストとして活用している現状があります。その序分の「禁母縁」に、

王いまこの殺逆の事をなさば、刹利種を汚してん。臣聞くに忍びず。これ旃陀羅なり。宜しく此に住すべからず。

という一文があります。ここに「是旃陀羅」という言葉があります。

この「旃陀羅」の言葉は、インドにおいていつ頃成立したかについては明確な資料はありません。しかし、『観無量寿経』がインド・中国・日本と伝承される中で差別を助長し、人間崩壊をもたらすような歴史を生み出してきました。しかも、その内容は一貫して人間が人間の尊厳を否定する差別語として機能しているのです。それは、単に古代インドの社会制度の中に位置づけられた身分という意味だけでなく、中国・日本においても同じような意味を持って使用されました。

特に、「旃陀羅」を「穢多・非人」と重ね合わせて差別を助長してきたという、私たち宗門の教学・教化の歴史があります。そして、それは決して過去のことではなく、今なおその言葉によって傷つけられる人々がいるのです。しかし、私たちはそのことに関心を寄せることなく、そこに問題があることにも気付かずに見過ごしてきました。

この「是旃陀羅」問題については、この問題が指摘されて以来、宗門挙げて取り組みがなされているとともに、すでに教区においても「差別と人権を考える協議会」が中心となって学習会が開催されました。この問題に私たち一人ひとりが自身の問題として向き合っていくことが課題ではないかと考えます。

先に示した『観無量寿経』の経文に対しては、善導大師による註釈の文があり、またこの経文に基づいた親鸞聖人による和讃があります。しかしそれらに込められた意味は、決して自明ではありません。

今回の学習会の講師である鶴見晃氏は、前回の講義（2019.6.28）において、善導大師や親鸞聖人の言葉に真向かいになりながら話をされています。このような学習会を通して、善導大師や親鸞聖人が言葉に込められた意味が少しずつでも明らかになっていくと共に、この問題を私たち自身の問題として学ぶ学びの始まりとなることを願って今回の学習会を開催いたします。

公私ともに、ご多用の事とは存じますが、是非ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。